

第4回ワクチンチーム会合（全国町村会との意見交換）

《開催要領》

- ・ 開催日時：2021年11月25日（木）15：50～16：15
- ・ 参加者：堀内 詔子 ワクチン接種推進担当大臣
佐藤 英道 厚生労働兼内閣府副大臣
田畑 裕明 総務副大臣
荒木 泰臣 全国町村会会長

《議事概要》

（荒木会長）

- ・ 今は感染が落ち着いており、大臣や皆様のご尽力であると考えている。

（堀内大臣）

- ・ 町村の皆様のご尽力により、着実に接種が進んでおり、感謝申し上げる。

（荒木会長）

- ・ 交互接種について、同一の会場で複数のワクチンを取り扱っていると混乱が生じる可能性がある。追加接種のワクチン供給は県との調整になると思われるが、町村の希望に沿うような形になるよう、国も配慮してほしい。
- ・ VRSについて、町村現場が円滑に進むように運用を改善していただきたい。
- ・ 小児接種の時期が追加接種の時期と重なる可能性があり、間違い接種の防止策が必要。丁寧な情報提供をお願いしたい。
- ・ 国における交互接種の安全性・有効性について国民に分かりやすく広報してほしい。
- ・ 国産ワクチンの早期承認、供給体制について、重点的な支援をお願いしたい。
- ・ 町村が混乱しないよう、早期の情報提供とワクチン供給の見通しを示していただきたい。
- ・ 町村の現場に混乱や負担を招かないよう十分配慮し、ワクチンの供給量や時期も含め、早め早めの丁寧な情報提供をお願いするとともに、追加接種に要する費用については、地方の負担が生じないよう、国において確実に財政措置を行っていただきたい。

（田畑副大臣）

- ・ 3回目の接種についても、1・2回目のワクチン接種の教訓をいかし、町村の皆様と常にコミュニケーションを密にして、寄り添った対応に努めたい。

（堀内大臣）

- ・ 本日いただいたご要望を踏まえ、これからも地方の皆さんの意見を聞きながら、追加接種等を進めていきたい。

以上